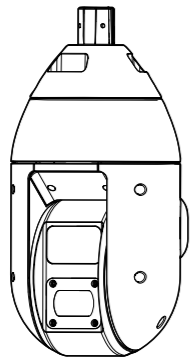


ネットワークカメラ

品番 **WV-X6533LNSJ, WV-S6532LNSJ**
(耐重塩害仕様)



WV-X6533LNSJ



保証書別添付

本機に関する基本的な内容については、付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」を参照してください。本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法については以下のパナソニックサポートウェブサイト内（取扱説明書掲載ページ）の「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。
https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に付属の「ご使用の前に」の「安全上のご注意」（13～15ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2020

PGQX2394ZA

avs0920-0

Printed in China

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でのお使いの場合に限りです。日本以外でのお使いの場合のサービスはいたしかねます。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 **0120-878-410** 受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)
*携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を選択的に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、CD-ROM内の取扱説明書 基本編、パナソニックサポートウェブサイト内の取扱説明書 操作・設定編の「故障かな!？」で症状を確かめてください。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「はじめにお読みください」(Readme.txt)をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話 () -	
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 ネットワークカメラ

●品番 WV-X6533LNSJ / WV-S6532LNSJ

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間**7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下のような構成になっています。

- 取扱説明書 設置編（本書）**：設置手順、取り付け、各ケーブルの接続とネットワークへの接続について記載しています。本書はWV-X6533LNSJを例として説明しています。
 - 取扱説明書 基本編（CD-ROM内）**：本機に関する基本的な内容（設置上のご願い各部の名前など）を記載しています。
 - 取扱説明書 操作・設定編（パナソニックサポートウェブサイト内）**：本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法について記載しています。
- 本書内で使用している「<管理番号：Cxxxx>」は、パナソニックサポートウェブサイト内で検索時に使用していただき、該当する情報へご案内するための番号です。

メモ

- 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。
- SDXC/SDHC/SDメモリーカードをSDメモリーカードと表記しています。

付属品をご確認ください

取扱説明書 設置編（本書）.....1冊 CD-ROM*1.....1枚
ご使用の前に.....1冊 コードラベル*2.....1枚
保証書.....1冊

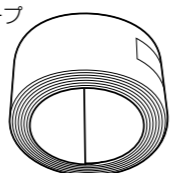
※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。紛失しないようご注意ください。

以下の付属品は取付工事に使用します。

ケーブルカバー.....1個	AC24 Vコネクターキット.....1式
防水テープ.....1個	(コネクターハウジング1個、コンタクト3個)
RJ45防水コネクターカバー.....1個	六角穴付き特殊ねじ*3.....5本
RJ45防水コネクターキャップ.....1個	(1本は予備)
8Pアラームケーブル.....1本	緩み防止ワッシャー.....5枚
親水コートラベル.....1枚	(1枚は予備)

※3 カメラを別売りの取付金具に設置する際に必要なねじです。

防水テープ



設置の前に

付属品以外に必要なもの

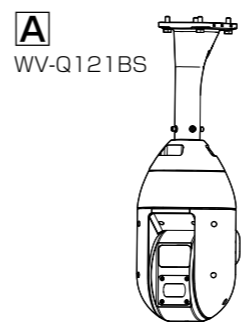
それぞれの工事に必要なものを前もって準備しておく必要があります。本機を設置する基礎部分、ポールなどについても耐重塩害仕様のもをご用意ください。

取付方法	取付ねじ	最低引抜強度 / 1本
A 天井から吊り下げて取り付ける場合 カメラ天井吊り下げ金具 (WV-Q121BS*) を使用してください。	M10 / 4本	1411 N {144 kgf}
B 壁面に取り付ける場合 カメラ壁取付金具 (WV-Q122AS*) を使用してください。	M10 / 4本	823 N {84 kgf}

※1 取付金具の設置手順の詳細は、それぞれの取付金具の取扱説明書をお読みください。

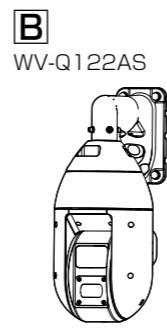
重要

- 最低引抜強度についてはパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。
<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html> <管理番号：C0120>
- 天井、壁に取り付ける取付ねじ4本（M10、JIS規格品）を別途用意ください。
- ねじの種類は取付場所の材質に合わせて選択してください。木ねじおよびくぎは使用しないでください。
- 取付ねじは、耐食処理ねじを使用するか、コーキングを行うなど十分に配慮してください。
- 石こうボードなど、強度が不十分な取付場所に設置する場合は、十分な補強を施してください。



A

WV-Q121BS



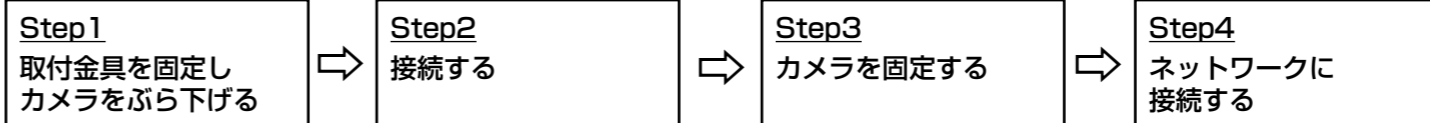
B

WV-Q122AS

設置する

設置工事を4ステップで説明します。

●カメラを取り外す際は設置時と逆の手順で撤去作業を実施してください。



Step1 取付金具を固定しカメラをぶら下げる

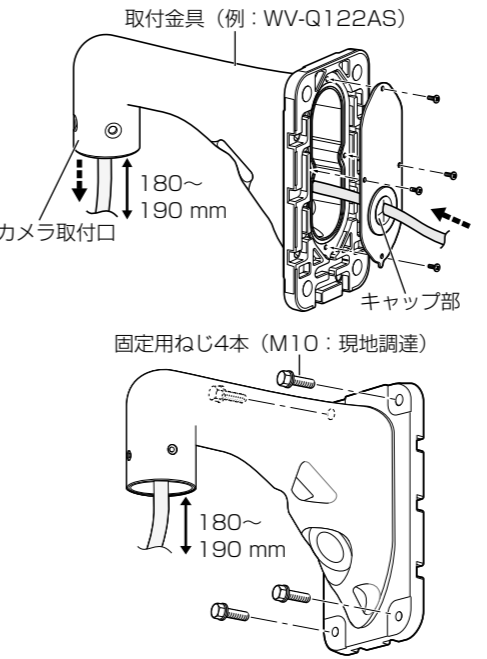
ここではカメラ壁取付金具 (WV-Q122AS) を使って壁面に設置する場合を説明します。詳細設置情報および手順は各取付金具の取扱説明書を参照してください。

[1] 設置面を加工する。

取付位置を決め、壁にねじまたはアンカー用の穴と、必要に応じて配線用の穴をあけます。

[2] 取付金具にケーブルを通して設置面に固定する。

- ①設置面からのケーブル類を取付金具の背面から内部へ挿入し、カメラ取付口(ケーブルカバー取付側)から引き出します。取付金具内にケーブル類を通すときには、ケーブルに無理な力がかからないように注意してください。
- ②穴加工した設置面と取付金具裏面のキャップ部を防水処理してください。
- ③固定用ねじ4本 (M10：現地調達) で取付金具を壁面に取り付けます。



重要

- 取付金具の固定用穴、設置面のケーブル取り出し口部分および取付金具裏面のキャップ部分を防水処理したあとに、取付金具を設置面に固定してください。
 - 固定用ねじ：最低引抜強度（1本あたり）
WV-Q121BS 1411 N {144 kgf}
WV-Q122AS 823 N {84 kgf}
 - 取付金具のカメラ取付口から引き出すケーブル端までの長さは180～190 mmに合せてください。(引き出したケーブルが長すぎると配線後の収納が困難になります。また、短すぎるとカメラをぶら下げたときにケーブルが届きませんので注意してください。)
- [3] Ethernetケーブル（現地調達）を加工し防水コネクターカバー・キャップ（付属品）を取り付ける。**
EthernetケーブルにRJ45防水コネクターキャップ(付属品)、RJ45防水コネクターカバー(付属品)の順に通し、専用工具（現地調達）で、先端にRJ45プラグ（現地調達）をかしめます。
- RJ45防水コネクターカバー（付属品）内部のゴムは外さないように注意してください。

重要

- Ethernetケーブル（現地調達）の最大長は100 mまでで、外形はφ5 mm～φ6.5 mmです。

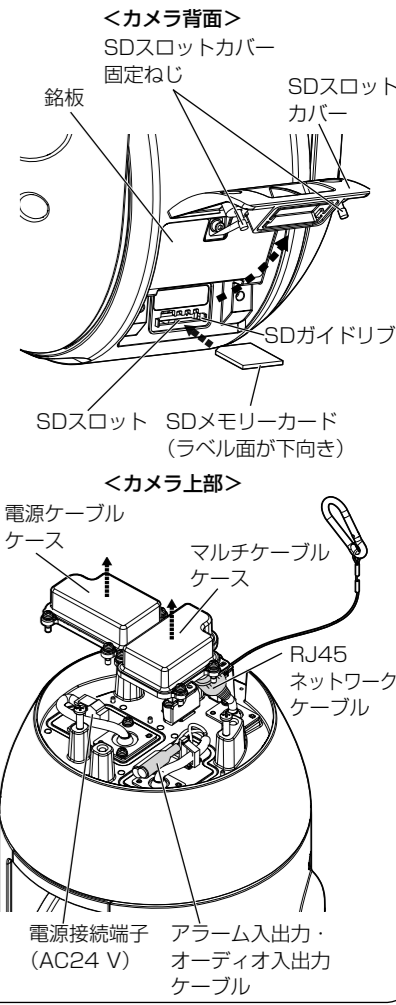
カメラの準備をする

[1] 必要な場合はSDメモリーカードを挿入する。
SDメモリーカードの詳細な取り付け・取り外し手順は付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」を参照してください。

- ①SDスロットカバー固定ねじ (M4) 2本をプラスドライバーを使って緩め、SDスロットカバーを開けます。
- ②SDメモリーカードをSDスロットに挿入します。奥までまっすぐ押し込み、「カチッ」と音がすることを確認してください。「カチッ」と音がしたあとにSDメモリーカードから指を離して、SDメモリーカードの後端がSDガイドリブより飛び出していないことを確認してください。
- ③SDスロットカバーを再度取り付けます。SDスロットカバー固定ねじ推奨締付トルク：1.38 N・m {14 kgf・cm}

[2] カメラ側からのケーブルを準備する。
◆カメラへの接続がEthernetケーブルのみの場合
ケーブルケース (2か所) は外さずにそのまま使用してください。
◆AC24 V電源、外部I/O機器やオーディオ入出力機器を使用する場合

カメラ上部にねじ (M4) 4本ずつで固定されているケーブルケースをプラスドライバーを使ってねじを緩めて取り外し、中に収納されているケーブルを引き出します。ケーブルケースは廃棄してください。



[4] ケーブルカバー（付属品）を取付金具に取り付ける。
①ケーブルカバーをM5用六角レンチ（現地調達）を使い、六角穴付き特殊ねじと緩み防止ワッシャーで取付金具に固定します。ケーブルカバーの「REAR」マークが、取付金具側に向くように、ケーブルカバーの向きを合わせてください。
推奨締付トルク：9.8 N・m {100 kgf・cm}

重要

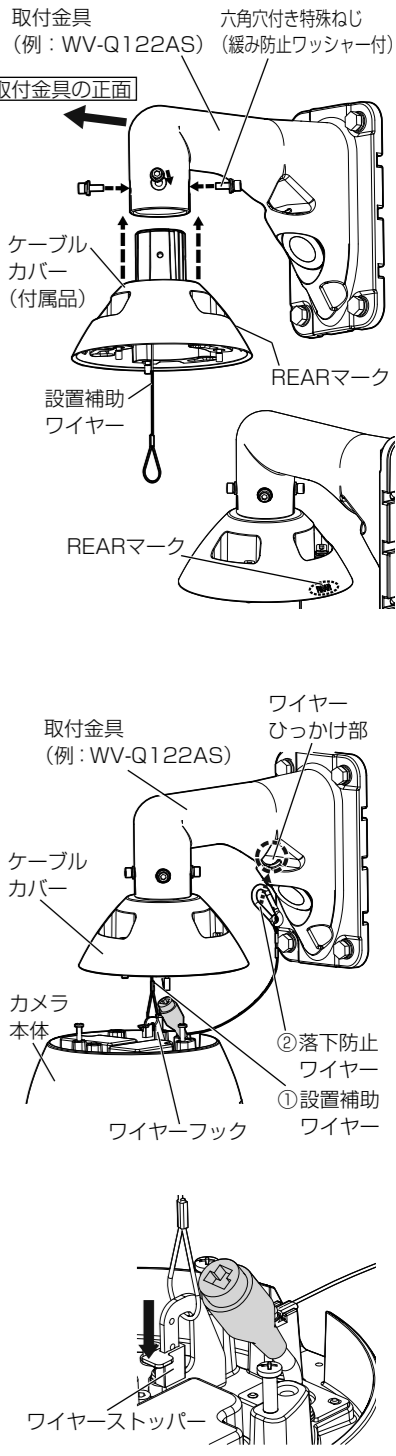
- 取付金具に付属している取付ねじ（六角穴付きねじ (M6)）は使用しないでください。カメラに付属されている座金の大きな六角穴付き特殊ねじを使用してください。
- ②設置補助ワイヤーはケーブルカバー内側にテープで仮固定されていますのでテープをはがしてください。

[5] カメラをケーブルカバーの設置補助ワイヤーにぶら下げ、落下防止ワイヤーを取付金具に固定する。

- ①カメラを設置場所まで移動させ、ケーブルカバーの設置補助ワイヤーをカメラ上部のワイヤーフックに引っ掛けます。次にワイヤーストッパーを下げて、設置補助ワイヤーが外れないようにします。
- ②カメラ本体の落下防止ワイヤーを取付金具のワイヤーひっかけ部に取り付けます。落下防止ワイヤーの取付位置については、各取付金具の取扱説明書を確認してください。

メモ

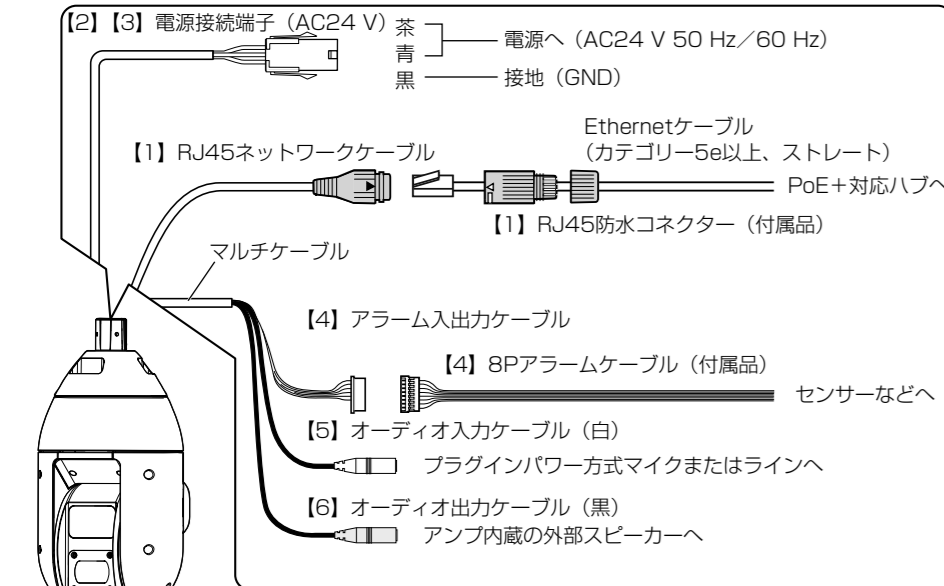
- カメラの水平・垂直回転部分はテープで固定されています。カメラの固定が完了するまで、テープをはがさないでください。
- カメラは固定されていないので、周囲に当たらないように注意してください。
- カメラをケーブルカバーからぶら下げるときは、ケーブルカバーから地面まで800 mm以上の作業スペースを確保してください。
- 設置補助ワイヤーと落下防止ワイヤーはカメラ本体だけをぶら下げることが想定して設計されています。カメラ以外の物をぶら下げないでください。



Step2 接続する

重要

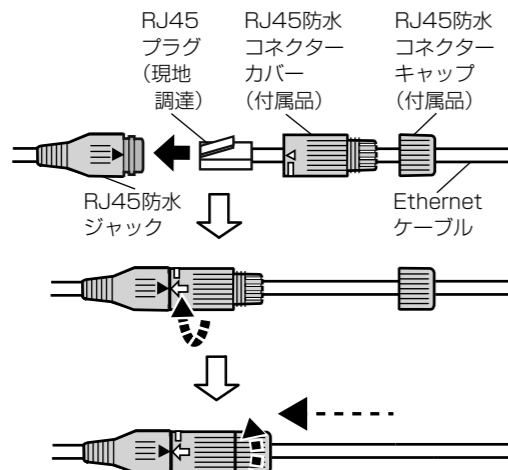
- カメラにケーブル類を接続する前に、必ずシステムの電源をOffにして、カメラに電源が供給されていないことを確認してください。
- カメラの可動部分をテープ固定したままで電源を入れると、水平・垂直回転をしようとして止まる動作を繰り返します。カメラの電源を切って接続作業を行ってください。また、前準備などでカメラ本体を覆がせた状態では水平・垂直回転動作は行われません。



イラストはWV-X6533LNSJです。

[1] RJ45ネットワークケーブルとEthernetケーブルを接続する。

- ①RJ45プラグ（現地調達）をカメラ側のRJ45防水ジャックに差し込みます。
- ②RJ45防水コネクタカバーを、「◀: OPEN」マークがRJ45防水ジャックの「▶」マークに合うように挿し込み、「⇄: LOCK」マークが合うまで右図の矢印の方向に回転させます。
- ③RJ45防水コネクタキャップをRJ45防水コネクタカバーとの隙間がなくなるまで回転させて固定します。



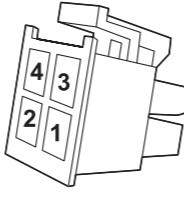
重要

- RJ45防水コネクタ（付属品）部分を手順に従って正しく組み立てていない場合は十分な防水機能が発揮できません。また、RJ45防水コネクタ部分を雨や水が常にかかる場所に設置しないでください。
- RJ45防水コネクタを外す場合は、必ずRJ45防水コネクタキャップを先に緩め、RJ45防水コネクタカバーを取り付けと逆方向に回転させ外してください。（RJ45防水コネクタカバーの「⇄: LOCK」マークがRJ45防水ジャックの「▶」マークに合った状態でRJ45防水コネクタカバーを外そうとすると、RJ45防水ジャックが破損する場合があります）

[2] 必要な場合はAC24 Vコネクタキット（付属品）を組み立て、本体の電源接続端子（AC24 V）と接続する。

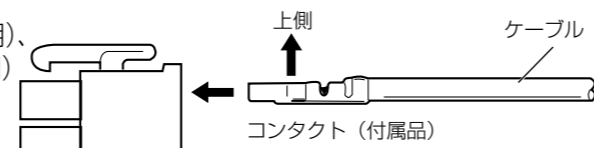
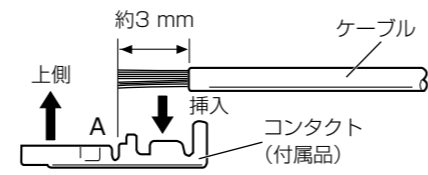
①コネクタハウジング（付属品）のピン配置

ピン番号	名称
1	AC24 V LIVE (茶)
2	AC24 V NEUTRAL (青)
3	Ground (黒)
4	Not use



②AC24 Vコネクタキットの組み立てかた

- ・ケーブルの外皮を約3 mm切断し、ショートなどがないように、芯線をよくよじってから接続してください。
 - ・ケーブルの先端をコンタクト（付属品）のAまで挿入し、かします。
 - ・ケーブルをかしめる際には以下の工具を別途用意してください。
- MOLEX手動圧着工具：
57027-5000 (UL1015用)、
57026-5000 (UL1007用)
- ・コンタクトとケーブルのクランプ作業後、コネクタハウジングの正しい位置にコンタクトを挿入してください。



コネクタハウジング（付属品）

重要

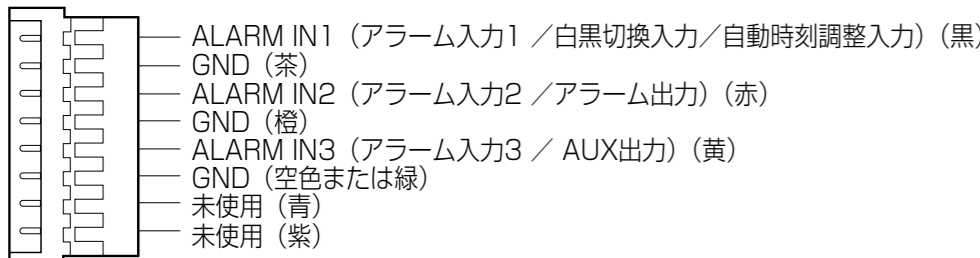
- AC24 V電源は、商用AC100 Vに対して絶縁されたものを使用してください。
- AC24 Vコネクタキット（付属品）は、必ず付属品を使用してください。
- AC24 Vコネクタの加工後は、実際にカメラに接続し、正常動作を確認してから使用してください。
- AC24 Vコネクタは、電源接続端子（AC24 V）の奥まで確実に差し込んでください。接続が不十分な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルに無理な力が加わらないように設置してください。

Step2 接続する（つづき）

[3] 推奨線材と線長

AWGサイズ (より線)	#24 (0.22 mm ²)	#22 (0.33 mm ²)	#20 (0.52 mm ²)	#18 (0.83 mm ²)
線長	5 m	5 m	15 m	20 m

[4] 必要な場合は8Pアラームケーブル（付属品）を接続する。



メモ

- お買い上げ時は、外部I/O端子は「Off」に設定されています。外部I/O端子の設定については、パナソニックサポートウェブサイト内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

[5] 必要な場合はオーディオ入力ケーブルとマイクまたは外部音声ラインを接続する。

[6] 必要な場合はオーディオ出力ケーブルとアンプ内蔵の外部スピーカーを接続する。

メモ

- オーディオ出力はモニター出力へ切り換え可能です。初期設定は「オーディオ」になっています。切り換え方法については、パナソニックサポートウェブサイト内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。
- オーディオ出力をモニター出力で使用するときは、φ3.5 mm ステレオミニプラグ（現地調達）を右図のように結線してご使用ください。

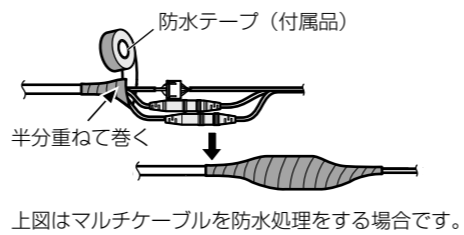


[7] Ethernetケーブル以外のケーブルを使用する場合は防水処理する。

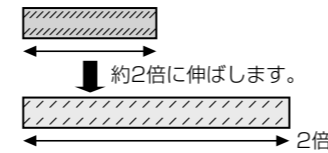
カメラ本体は防水ですが、ケーブル端は防水対応ではありません。各ケーブルの接続部は防水処理をしてください。
<防水処理方法>
防水テープ（付属品）を使用し、右図のようにして防水処理をしてください。

重要

- テープを約2倍の長さに引き伸ばし（右図参照）、ケーブルの周りに巻きつけてください。テープを十分に引き伸ばさないと、十分な防水性が得られません。



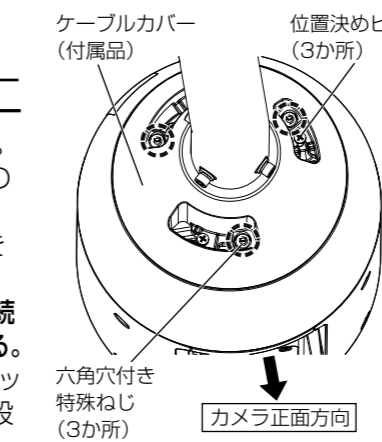
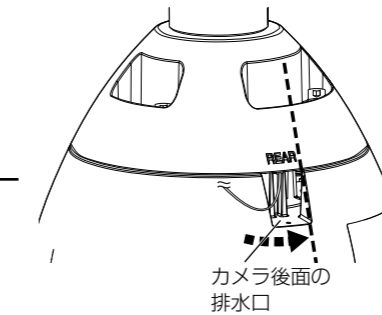
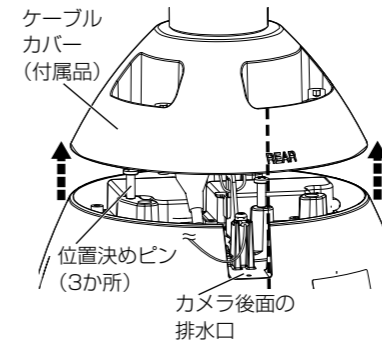
上図はマルチケーブルを防水処理をする場合です。



Step3 カメラを固定する

[1] ケーブルカバー（付属品）にカメラを取り付ける。

- ①カメラ本体のPanasonicロゴが正面となるようにして、カメラ後面の排水口右端をケーブルカバー後面「REAR」マークの先頭R文字の左端に合わせます。（右上図参照）
- ②カメラ上部の位置決めピン（3か所）をケーブルカバーの取付穴に差し込みます。
- ③カメラ部を下方から見て時計回りに回し、カメラ後面の排水口右端が、ケーブルカバー後面「REAR」マークの最後尾R文字の右端まで動いて、仮固定されたことを確認します。（右中図参照）
- ④ケーブルカバーの六角穴付き特殊ねじ（固定用ねじ）3本に付いている緩衝材を取り外し、ねじをしっかりと締め付けてください。（右下図参照）推奨締付トルク：2.45 N・m {25 kgf・cm}



メモ

- 固定用ねじは六角穴付き特殊ねじのため、M5用六角レンチ（現地調達）を使用してください。
- 設置補助ワイヤーや配線部分がケーブルカバー外周に挟み込まれないようにケーブルカバーの内側へ処理してください。

[2] 設置完了後、水平・垂直回転部分を固定しているテープとフロントパネル表面の保護シートを取り外す。

- 保護シートを取り外したあとはフロントパネルの透明部には触れないでください。
- カメラの電源を入れる前に水平・垂直回転部分を固定しているテープを必ずがしてしてください。

[3] カメラの電源を入れて、Step4の「ネットワークに接続する」に従ってカメラの画面を確認し、画角を調整する。

カメラの画角調整方法の詳細については、パナソニックサポートウェブサイト内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

お願い

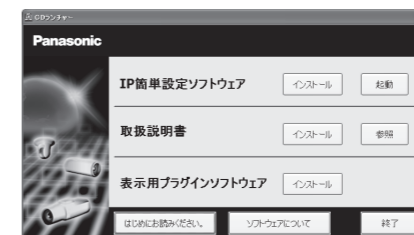
- 付属の親水コートラベルをカメラの外観などに貼付けてください（右図参照）。



Step4 ネットワークに接続する

PCのファイアウォール設定が有効になっているときは、一時的に解除してからカメラ設定を行ってください。カメラの設定が終わったら元の状態に戻してください。ネットワークの設定を行うための情報は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

[1] 付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットし、CD-ROM内の「CDLauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてCDランチャーを起動する。



- 使用許諾契約が表示されますので、使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します。」を選択し、「[OK]」をクリックします。
⇒ CDランチャーメニューが表示されます。

メモ

- CDランチャーの詳細については、パナソニックサポートウェブサイト内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

[2] IP簡単設定ソフトウェアの「起動」をクリックする。

⇒ [Panasonic IP 簡単設定ソフトウェア] 画面が表示されます。見つかったカメラのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示します。

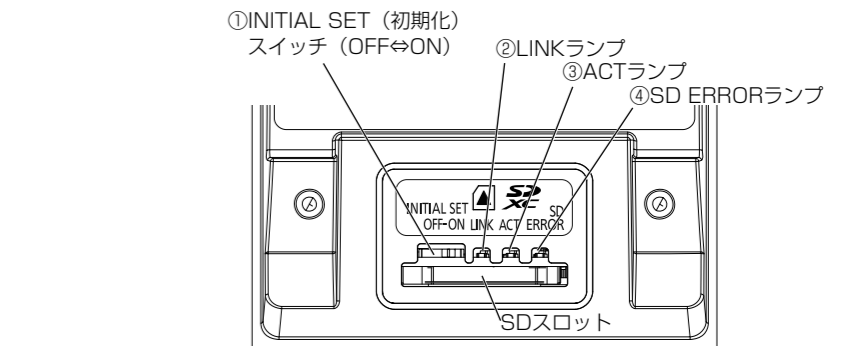
[3] 設定するカメラを選択 (①) し、「ネットワーク設定」(②) をクリックしてカメラのネットワーク設定を変更したあとに、「カメラ画面を開く」(③) をクリックする。

メモ

- 設定したいカメラに貼られているラベルに記載のMACアドレスと同じカメラをクリックしてください。



■ランプおよびスイッチ



- | | |
|---|-----------------------------|
| ①INITIAL SET (初期化) スイッチ (OFF⇄ON) | (OFF⇄ON) |
| ②LINKランプ
接続機器と通信可能になったとき | 橙点灯 |
| ③ACTランプ
カメラがデータ受信時 | 緑点滅 (アクセス中) |
| ④SD ERRORランプ
●カメラが起動中
●正常にSDメモリーカードが認識された場合
●起動後SDスロット未使用もしくはSDメモリーカード異常が検出された場合 | 赤点灯
赤点灯→消灯
赤点灯→赤点灯のまま |

[4] 管理者登録画面が表示されたら、画面に従って管理者のユーザー名、パスワード、パスワード確認を入力し、「登録」ボタンをクリックする。

登録したユーザー名、パスワードは第三者の目に触れないように大切に保管してください。登録完了後、カメラに自動で再接続し、認証画面が表示されますので、登録したユーザー名、パスワードを入力してください。ユーザー認証の初期値は「On」です。詳しくは「取扱説明書 操作・設定編：はじめに」を参照してください。



重要

- インターネット経由でご使用の場合、ユーザー認証を「Off」にすると第三者による意図しないアクセスのおそれがあります。ユーザー認証は「On」のままご使用ください。

[5] カメラのライブ映像が表示されたら、ネットワークの接続は完了です。

メモ

- 以下の内容の詳細については「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。
- カメラを使用する前に、設定メニューの「基本」ページで「日付時刻」の設定を行ってください。
- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされていないPCでは、H.265（またはH.264）、MJPEGの表示や音声の受話/送話、ログ表示、全画面表示を行えません。必要な場合はライブ画面の「プラグインソフトウェア」ボタンを押してインストールしてください。
- ご使用のPCの環境によっては映像が出るまでに時間がかかることがあります。
- お買い上げ時、音声の入出力は「Off」に設定されています。必要な場合は設定メニューの「音声」ページで設定を行ってください。
- IP 簡単設定ソフトウェアは、セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると対象カメラの「ネットワーク設定」を変更することができなくなります（IP簡単設定の有効期間の設定が「20分間」の場合）。ただし、初期状態のカメラは約20分経過後も変更することができます。